



ID: 1442

科目名	体育科教育法Ⅱ【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	谷本 英彰			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	教職		
授業概要							
この授業では、保健体育科教育の目的・内容・方法に関する諸説について概説し、それらを一貫性という観点から考察する。また、後半では、小グループで実際に授業づくりのプロセス(教材解釈→教科内容の設定→授業プランの作成→評価計画)を追体験することを通じて、目標設定・教材づくり・学習集団の組織化・形成的および総括的授業評価等、体育実践の見方および構想の仕方について理解する。							
到達目標							
体育の授業づくりに関わる基本用語についての理解を深めるとともに、授業計画の立案と学習指導案の作成に関する基本的な方法を習得する。また、授業分析(=授業評価)法に関する基本的な方法と視点を習得する							
授業計画							
第1回	オリエンテーション						
第2回	体育授業の目標—内容—方法に関する講義(1) 教授学的一貫性						
第3回	体育授業の目標—内容—方法に関する講義(2) 素材の教材化と教科内容の教材化						
第4回	体育授業の目標—内容—方法に関する講義(3) 教授ストラテジー						
第5回	中学校体育実践の事例研究(1) 実践記録の収集						
第6回	中学校体育実践の事例研究(2) 実践記録の分析(体育実践カタログ)						
第7回	グループによる授業づくり(1) 単元構想						
第8回	グループによる授業づくり(2) 本時案の作成						
第9回	模擬授業(1) ボール運動						
第10回	授業批評会(1) 集団討論テーマ:球技の戦術学習をどのように組織するか						
第11回	模擬授業(2) 陸上運動						
第12回	授業批評会(2) 集団討論テーマ:共同化された学びをどのように組織するか						
第13回	模擬授業(3) 器械運動						
第14回	授業批評会(3) 集団討論テーマ:コトバを用いた活動をどのように組織するか						
第15回	講義の振り返りと討論						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
中間レポート、最終レポート及び試験の結果を総合的に考慮して評価する			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				20	30	50	
授業外学習			テキスト、教材				
			梅野圭史・海野勇三・木原成一郎他編 『教師として育つ—体育授業の実践的指導力を育むには—』明和出版、2010				
参考書			受講生へのメッセージ				
適宜プリントを配付する。学習指導要領を利用する。							
キーワード							